

会 議 結 果

会議名	令和 6 年度第 1 回西尾市食育推進会議
日 時	令和 6 年 6 月 1 8 日（火）午前 1 0 時～1 1 時 3 0 分
場 所	市役所 2 2 会議室
出席者	委員：上原正子、山本幸子、森原綾子、高須朱音、黒部綾子、中村星児、小島周平、 太田知宏、岡田明美、新家弘美、都築貴弘、田代幸子、石川まゆみ 事務局：小笠原敬、左右田明、酒井洋子、村松ありさ
傍聴者	3 人
議 題	1 第 4 次西尾市食育推進計画の概要について 2 令和 5 年度食育推進関係事業自己評価及び令和 6 年度食育推進関係事業計画について 3 その他
結果等	

1 第 4 次西尾市食育推進計画の概要について

令和 4 年 3 月に第 4 次西尾市食育推進計画を策定した。計画期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間である。

この計画は、健康な暮らしを持続できるような食育のあり方として、食の知識や望ましい食習慣を身につけ、楽しく食事をするを「知ろう・学ぼう 食育の話！」「やってみよう 食育の和！」「みんなで参加しよう 食育の輪！」「まもろう 食育の環！」の 4 つのわをテーマとして、西尾市独自の食育を進めていく。

【意見】

- ・食育プログラムはたくさん用意があるか。
- ・食育プログラムが活用できる場合は、配布できる旨を事務局より伝えた。

2 令和 5 年度食育推進関係事業自己評価及び令和 6 年度食育推進関係事業計画について

- ・今回は、2 つの事業が廃止、2 つの事業が新規追加された。主だった事業を中心に、健康課・学校教育課・保育課・観光文化振興課・農水振興課、ごみ減量課の一部の事業を紹介した。

【意見】

- ・学校給食関係の研修会には先進的な他の市の学校給食センターを訪れることを考えたかどうか。
- ・西尾の食育を他市や関係機関（東海農政局など）に知らせる機会を考えたかどうか。
- ・西尾市の農業は J A を中心に先進的な取り組みを進めている。このような事例をもっと P R していくことを大事だと思う。
- ・特産物を使った食育講座を農水振興課が行っているが、教育委員会主導で行うべきではないか。
何年生で何を学ぶか等、もっと授業の中に入り込んだレベルで開催されるのが好ましいのではないか。
- ・保育園や幼稚園での給食の試食会で、普段家では食べない食材を食べている子供の姿をみることができた。
- ・保育園や幼稚園の食育教室で子供たちは赤黄緑の栄養素を学んでいるが、親がわからないためうまく褒めてあげられない。食事を提供する親に向けた周知や食育の勉強の機会が大切になってくるのではないか。
- ・ライフコースアプローチのように子供からずっと人生がつながっている。栄養・健康があるが、基盤となる全員が味わえる食の豊かさを大事にしていくことが大事だと思う。
- ・どの事業に関しても、やっではいるが市民に周知していくことが難しい。西尾市の素晴らしい取り組みについてもっと P R していくべきである。

3 その他

- ・今年度は、年間 2 回の会議を開催する。次回は、令和 7 年 3 月 6 日（火）を予定していることを報告した。

【総括】

西尾市の食育推進事業や取組がすごいと意見が出たが、まだ環境の部分で少し足りない部分がある。限りあるものである食・食材を、どのように持続したらいいのかを考えていくことが必要である。まずは西尾の環境、食環境というものはなにがあるのかということから考えるべきである。西尾の農地や海でとれた資源を、私たちに必要なものであることを、市民の方々に知っていただく手立てが考えていく必要がある。これから変わっていく社会で何ができるのかを考え、新たなつながりを、新たな方向でやっていき、食育というものをさらに市民の中に広げていくということを考えるべきである。